

1

賑わいのあるまちづくりに必要なアプローチは 果たして観光施策なのだろうか？

まちの賑わいづくり≠観光施策。仕事・生活・教育を充実させることが
観光客や移住者を呼ぶこと、ひいてはまちの賑わいにつながるのではないか。

越境通学などで学校が少ない内山地区でも
教育環境の選択肢が増えたらよいなあ

生活必需品を販売する店舗が少ない。
買い物需要や独居老人の見守り
防災・減災のための情報発信に
ICTを積極的に活用しては

教育を充実させることで
移住定住のきっかけになる

通過交通が多くスピードも速い。
狭い歩道に路上駐車していることも。
子どもはもちろん、高齢化が進む町中の
道路としての交通対策が必要！

生活の基盤となる
教育・福祉

若い職人・作家が
よりチャレンジできる環境や
仕組みがあれば

飲食店の選択肢が少ない
やきものの店以外も増えていくと
暮らしがもっと楽しくなりそう



窯業に携わる人の

生活



窯業以外の産業に
携わる人の

生活

歴史

有田町伝統産業

窯業

現代

「窯業+その他の仕事」の二本柱

窯業以外の

仕事

飲食

商店

事務職、農業 など

有田町特有
歴史的景観
伝統的建造物群

観光

内山地区をとりまく
豊かな自然景観

2

賑わいのあるまちづくりのために

内山地区にはどんな機能が必要だろうか？

内山地区に求められる機能や取り組みはどのようなものか。

生活と観光が混ざり合うような居場所づくりが必要だと考えました。

日常・継続的 移住・定住

- ・ 窯業や起業家ではない職業の選択肢を増やす
- ・ 内山でできる仕事
- ・ 内山地区外、有田町外で働く
- ・ 魅力的な少人数制教育
- ・ 日常の買い物
- ・ 近所に外食できる場所

- ・ ファミリー、単身者、アトリエなど
選択肢がある賃貸物件
- ・ コミュニティスペース
- ・ プライバシー確保
- ・ 新築、改修できる基礎整備
- ・ 土砂、洪水災害対策

体験と交流をうながす場

内山地区で暮らすハードルを下げる、継続的な関わりを生み出す活用方法

たとえば ...

ロングステイ型の窯業体験・研修施設

- ・ やきもののものづくりをより深く学べる制作体験やオープンファクトリーのような製造現場の見学が常態的にできる。
- ・ 窯業の製造実習や研修ができる。
- ・ 若手の作家、窯業従事希望者のためのレンタルアトリエ。
- ・ ロングステイができる宿泊施設。

このように、機能（施設や制度）を地区内で確保することで、より深い観光コンテンツの提供と、有田での暮らしを試す移住体験が可能となる。

チャレンジショップの整備

- ・ 仕事の部分だけではなく、住居も提供（または補助）してあげるといったパッケージにし、有田町内外の人がもっと利用しやすい制度にする。
- ・ 募集期間、年間募集人数を増やす。など

各分野のコンシェルジュによるマッチング

住居、教育、窯業、仕事、などの分野ごとに、中立的な立場で相談できるコンシェルジュがいてくれると、移住や暮らしに対するハードルがぐっと下がるし、暮らしやすくなる。

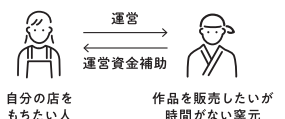
コンシェルジュによるプログラム開発

たて割りで進んでいるサービスや制度を、生活や観光の視点から横断的にできるような仕組みをとる。

やりたいことを持続可能にする仕組みづくり

補助金に頼りすぎない仕組みをつくることで、やりたいことを自立的かつ継続性の高いかたちで実現することができる。

たとえば、お店をもちたい人と、店で作品を売りたいがその時間がない窯元をマッチング。窯元はお店を運営者にまかせて店舗運営補助金を支払うことで、お互いのニーズを叶えて事業を行うことができる



非日常・一度きり 観光

- ・ 歩いていて楽しい
- ・ 常態的に営業しているお店
- ・ やきもの以外のお店
- ・ 飲食店
- ・ ものづくりの情報発信
- ・ 職人とクリエイターの交流拠点
- ・ 観光案内
- ・ マルシェなどのイベント
- ・ 宿泊施設